

令和3年10月31日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙
— 第4区 —

選挙公報

投票日 **10月31日** 日

愛媛県選挙管理委員会

なにより、いのち。ぶれずに、 つらぬく

5つのチェンジ 自公政権にかわる 新しい政治を

1 「弱肉強食」から、ケアを大事に命と暮らしを守る政治へ

- コロナ対策徹底。高齢者の医療費負担増中止
- 中小企業支援で最低賃金時給1500円に
- 消費税を5%に。大企業と富裕層に応分の負担を

2 環境破壊やめ、気候危機を打開

- 2030年までにCO₂最大6割削減(10年比)めざす
- 伊方原発再稼働NO。再生可能エネルギーで雇用を拡大

3 ジェンダー平等、多様性、個性を尊重

- 男女の賃金格差をなくす
- 選択的夫婦別姓の実現、同性婚認める民法改正を

4 アメリカいいなりやめ、自主・自立の平和外交

- 安保法制を廃止し立憲主義回復、憲法9条を守る
- 核兵器禁止条約に参加。辺野古埋立て、新基地NO

5 政治の私物化、強権、腐敗政治NO

- 「森友・加計・桜」など国政私物化疑惑を徹底究明
- 強権政治の根を断ち、透明性ある公正な政治に

プロフィール / 1957年生まれ。愛媛大学工学部卒。「赤旗」松山出張所長、党中予地区副委員長、党県常任委員などを歴任。現在、党南予地区委員長。

市民+野党で政権交代。新政権ささえるたしかな力

比例代表は日本共産党

とお書き
ください



西井直人

日本共産党

桜内ふみきプロフィール

1965年10月生まれ
愛媛県宇和島市出身
愛媛県立宇和島東高校卒業
東京大学法学部卒業
米・ハーバード大学大学院卒(修士)
マレーシア・マラヤ大学大学院卒(博士)

1988年4月
大蔵省(現・財務省)入省
財務省課長補佐
在マレーシア日本国大使館1等書記官
鹿児島・加治木税務署長

2002年4月
新潟大学准教授(会計担当)
内閣府・経済財政諮問会議専門委員
財務省・財政制度等審議会専門委員

2010年 7月 参議院議員
2012年 12月 衆議院議員
2014年 12月 公認会計士・税理士
2019年 5月 自民党志帥会(二階派)
常任参与

元衆議院議員

詳しくはWEB・SNSをご覧ください



桜内文城
公式ホームページ



@fsakura



桜内文城



@sakuracpa



新型 コロナ対策

「交付国債」で生活を守る

国民の健康と命を守り、同時に経済と日々の暮らしを守るのは政治家の務めです。

昨年から提唱している「交付国債」という、特殊な国庫債券を用いて政府債務を1円たりとも増やさずに数十兆円規模の財政支出を行うことができます。財務省主計局の元同僚や日銀の幹部からもご賛同をいただいている考え方で、日本経済を守る切り札になると考えています。

国民の命を守り、日々の生活、仕事や暮らしを守ることを考えるのが私の政策です。



高速整備

高速延伸で命を守る

地方特有の問題として県立病院に医師が少ないことがあります。大きな問題ですが、南予地方もまた同様の問題を抱えています。例を挙げると、南宇和郡愛南町の県立南宇和病院には麻酔科の先生がいないため、住民の手術もできません。高速道路も愛南町から未整備のために、一刻を争う状況でも患者を市立宇和島病院に運ぶ時間がかかってしまいます。高速道路の予算や権限も国が握っているのです。

私は、財務官僚と国会議員の経験とパイプを活かして高速道路の早期整備を実現し、皆さんの命を守ります。



農業

南予用水メンテ予算獲得で仕事を守る

南予農業の生命線である南予用水は国の直轄事業です。現在は市町村が県に対して要望を出していますが、実際には県には予算要求の権限はなく農業省に直接働きかける必要があります。予算が確保されていない現状があります。

私は、財務官僚と国会議員の経験とパイプを活かして農業の生命線である南予用水のメンテナンス予算等を確保し、皆さんの仕事を守ります。



漁業

赤潮被害対策で暮らしを守る

南予自慢の鯛やハマチの養殖にとって、赤潮は最大のリスクです。発生メカニズムが未解明である現在、避けることができないリスクのために漁業共済などがありますが、全員がフルに加入しているわけではありません。

私は、実際に被害が発生した時に、漁業共済に加入している方も未加入の方も100%国が補填する制度を作り、皆さんの暮らしを守ります。

「ふるさとをひとつ」共に歩む
地元出身即戦力！再び国を動かす

4区



桜内ふみき

無所属

令和3年10月31日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙
— 第4区 —

選挙公報

投票日 **10月31日** 日

愛媛県選挙管理委員会

コロナ対策・経済対策

- ・ワクチン接種・国産治療薬の開発加速
- ・コロナ医療・地域医療を担う公立病院への支援
- ・子育て世帯、非正規雇用者などへの支援
- ・一次産業への支援、地域独自対策への財源確保

災害復興・国土強靱化

- ・西日本豪雨災害からの復旧・復興
- ・南海トラフ地震への備え、南予用水の耐震化
- ・地域に誇れる消防団の団員確保
- ・線状降水帯の予測システムの開発

ふるさと創生・格差是正

- ・出産・子育て支援、医療・介護・福祉の確保
- ・一次産業の底上げ、新たな企業誘致
- ・高速道路、情報通信インフラの整備促進
- ・地方へ投資を呼び込む「特区制度」の創設

に最優先で尽力します!

長谷川じゅんじの政策8本柱

- 1 西日本豪雨からの迅速な復旧と創造的復興
- 2 農林水産業の振興
- 3 災害に強い国づくり
- 5 中小企業の振興、観光・交流人口の拡大
- 4 地域経済と安全・安心を支えるインフラ整備促進
- 6 子育て支援の拡充と全世代型社会保障への転換を推進
- 7 革新的技術を活用して「条件不利地域」を克服
- 8 地方創生の推進

長谷川じゅんじの活動



宇和島市魚市場へ水揚げする漁業者と 大洲市柳沢地区の皆さまと 八幡浜市保内町のみかん生産者と 伊予市中山キウイ生産者と 久万高原町の事業者と

長谷川じゅんじの略歴

平成3年 自治省入省
 平成20年 愛媛県 総務部長【加戸守行知事3期目】
 平成24年 愛媛県 副知事【中村時広知事1期目】
 平成28年 内閣官房 内閣副長官補付 内閣参事官
 平成29年 総務省 自治財政局 地方債課長
 平成30年 財務調査課長
 7月豪雨災害時に政府支援チーム員として宇和島市等へ派遣、
 吉田町・三間町の水道の復旧等に從事
 令和元年 総務省 自治行政局 地域政策課長
 県連の公募により、四区候補者に選任、総務省退官
 令和2年 四区支部長に選任

プロフィール

生年月日 昭和43年(1968年)8月5日(53歳)
 学 歴 東京大学(法学部)卒業
 家 族 妻、長女(大学生)、長男(高校生)
 趣味・特技 陸上競技(東京大学陸上部在籍マラソンはサブ3ランナー)
 著 書 「ようこそ地方財政」(第一法規、2020年)

国・県・災害対応の最前線で培った実績を活かし
即戦力で動きます!!

ふるさととの未来を拓く
即戦力!



長谷川じゅんじ

自民党公認
は
せ
が
わ

元愛媛県副知事
元総務省課長
豪雨災害政府支援チーム総括

衆議院小選挙区選出議員選挙
衆議院比例代表選出議員選挙
最高裁判所裁判官国民審査

投票日

10/31(日)

期日前投票は、10月30日(土)まで

新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします。



愛媛県選挙管理委員会

詳しくは で